

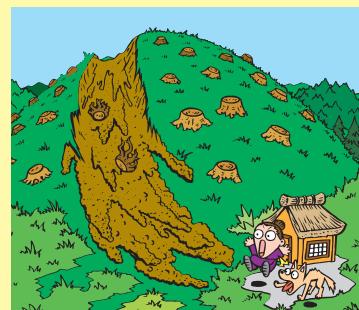
自然災害から身を守る

気象情報の収集

災害が起こる恐れがあるときは「注意報」、重大な災害が起こる恐れがあるときは「警報」が気象庁から発表されます。台風や大雨の時は外出を控えて、テレビやラジオなどで常に新しい気象情報を確認してください。

また気象庁は、8月30日から新たに「特別警報」を導入します。

特別警報とは、重大な災害の起こる危険性が著しく高まっている場合に、最大限の警戒を呼び掛けるものです。



● 土砂災害は前兆に注意しましょう

次のような前兆がみられた場合や、大雨が降り続いている危険を感じた時は早めに避難しましょう。

迅速な避難を

避難情報を正しく理解する

防災行政無線を通じて市が出す避難情報は状況によつて違いがあります。

- ・崖からの水が濁る。
- ・崖にひび割れが入る。
- ・小石が“バラバラ”と落ちてくる。

地すべり

- ・地面にひび割れができる。
- ・沢や井戸の水が濁る。
- ・斜面から水が吹き出す。

土石流

- ・山鳴りがする。
- ・雨が降り続いているのに川の水位が下がる。
- ・川の水が濁つたり流木が混じりはじめる。



避難時の注意点

① 安全で動きやすい服装を

ヘルメットなどで頭を保護する。

靴は紐で締められる運動靴を履きましょう。長靴は水が溜まると動きにくくなるので厳禁です。

② 水位に注意

水深50センチを上回る（膝上までの水）場所での避難は危険です。無理をして避難をせず、高い所へ行き救助を待ちましょう。

③ 集団で避難する

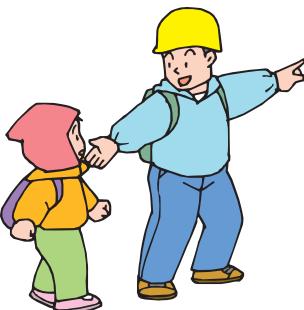
家族や近所の人と一緒に2人以上で避難してください。はぐれないよう、ロープでお互いの体を結びましょう。

④ 足元に注意

水面下にはマンホールや側溝などの危険があります。長い棒などを杖代わりにして安全を確認しながら歩くのも有効な手段です。

⑤ 高齢者や子どもの安全確認

高齢者は背中に背負い、子どもには浮き輪を付けましょう。



社会を明るくする運動

7月の「社会を明るくする運動」強調月間にちなんで、7月1日に各地域でさまざまな活動が行われました。

【社会を明るくする運動】とは…

犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生に理解を深め、明るい社会を築こうとする全国的な運動で、毎年実施されています。

参加者たちは、志佐町内を約1時間かけて歩きながら、啓発用のパンフレットやティッシュを通行人などに手渡し、犯罪や非行のない明るい社会づくりへの理解と協力を呼び掛けました。

啓発パレードを実施

【松浦地域】

第63回社会を明るくする運動啓発パレードが、志佐町内で実施されました。この日は、平戸・松浦地区保護司会松浦分区（大畑安盛分区長）や松浦更生保護女性会（永益幹子会長）、松浦市地域自治会連合会（川畑喜久雄会長）など9団体約70人が参加しました。



【福島地域】

福島町の啓発行事は、福島町更生保護連絡協議会の主催で開催されました。福島支所周辺を約20名でパレードした後、町内一周車両パレードが行なわれました。今年は、福島小学校の鼓笛隊も参加して、楽曲を演奏しながら支所周辺をパレードし、運動を盛り上げました。



ポスター・標語の展示および車両パレードを実施

【鷹島地域】

鷹島町の啓発行事は、実施委員会会員約30名による町内一周車両パレードが実施されました。さらに、強調月間の期間中、小学生によるポスター・標語各20点を鷹島支所玄関横に展示しました。



ポスター・標語の表彰者は次の通りです（敬称略）。

【ポスターの部】

(小学生)	最優秀	宮本憲武	(6年)
高橋勇貴	(6年)	優秀	森 嵐 (6年)
優秀	門歩乃華 (3年)	高橋勇貴	(6年)
優秀	森 満博 (1年)	優秀	森 満博 (1年)
吉永周瑛	(1年)	吉永周瑛	(1年)